

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・設置基準以上の広いスペースを確保しており、運動授業内容に沿いながら器具の設置を行っている。 ・人数・活動内容によって狭いと感じるときがある。 ・十分なスペースが確保できていると考えている。教室全体を使う活動ではマットの活用や机の移動を行いケガの無いように努めていきたい。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	4			<ul style="list-style-type: none"> ・設置基準に基づき、不足なく配置をしている。日々の活動における職員の配置について、役割分担を決めた上で安全への配慮をしながら支援に当たっている。毎月定期的に社内研修を実施しており、外部研修で取り入れた内容や、各職員で発案されたアイデアなどを共有しながら、専門性の向上を行っている。 ・職員のシフトによって人数が少ない時はあるが基本的には適切で配置はできている時が多い。 ・児童の数に対して職員の配置は適切であると考えている。 ・専門性に関して研修を通し職員間で共通した認識を持つことができていると考える。
適切な支援の提供	3 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の発達特性を専門的見地を基に客観的に分析し、最適となる指導方法を常に研究している。また、利用者のニーズについて日頃面談を行い、個別支援計画を立て、定期的なモニタリングと合わせて見直しも随時進めている。上青木教室と元西川口教室の利用者について、職員間でアセスメント情報を共有し、支援会議を踏まえて作成がされている。 ・面談や保護者対応の際にニーズを聞き個別支援計画に反映できていると思う。職員間でも児童の進捗を確認しながら作成できている。 ・しっかりと面談を通して個別支援計画が作成されていると考えている。一方で上青木
	4 運動プログラムが固定化しないようバリエーションを付けた工夫がなされているか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・予め年間計画を立てており、月ごとに運動プログラム内容を変えている。また、プログラムごとに目標値を定め、目標達成に向けた指導案をそれぞれ計画を立てながら行っている。 ・小学校の年間指導計画に基づいて運動プログラムを作成している為、固定になっているものはある。内容を変更など行い今後も工夫していきたい。 ・児童のモチベーションを維持するため様々なバリエーションを用意し、飽きがないように支援を行っていると考える。
保護者への説明等	5 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4			<ul style="list-style-type: none"> ・体験説明会を個別で随時開催しており、参加者へ支援内容や利用負担額についての説明を行っている。また契約時にも、契約内容に沿った説明を確実に実施している。 ・契約・面談で相談などがあつた際は説明できている。 ・契約時や面談を通して保護者に適切な説明が行えていると考える。 また、保護者からの疑問や質問があつた際にはその都度適切に対応もできている。
	6 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4			<ul style="list-style-type: none"> ・口頭、連絡帳、電話、LINE、等の手段を用いて、その日の利用者の活動内容や様子について伝えており、情報の共有を実施している。また、保護者からの子どもの相談についても、手法やタイミングを問わず随時受け付けており、状況や課題についての共通理解が行われている。 ・日々の活動の様子や今後の課題についてはお迎え時・面談の際に共有して共通理解できている。職員間での共有もできている。 ・日々の送迎時のやり取りや電話・ラインでの相談を通してその都度児童の情報の共有を行えることができている。
	7 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4			<ul style="list-style-type: none"> ・半年に一回以上の定期面談の他、保護者からの申し出により個別対応での面談を随時実施しており、そこで得られた情報を基に助言を都度行っている。 ・保護者の困りごとにも面談内容に含めて支援できている。 ・定期的な面談や保護者からの相談を通してその都度迅速に対応することができていると考える。
	8 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> ・申し出を受けた苦情内容について、内容を問わず職員全体での共有を細やかにし、苦情解決に向けて管理者や児童発達支援管理責任者を中心とした迅速な対応を図っている。 ・苦情があった際は職員間で共有をしてミーティングなどでどのように対応するか話し合い対応できている。 ・苦情が出た際にはすぐに職員間での共有を行い、ミーティング等を通して解決策検討して対応することができている。
	9 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4			<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の家庭事情に配慮し、日々の情報や出来事の有りに関しては、伝達媒体を慎重に選定しながら行っている。 ・お迎えや面談・LINE@・電話を通して保護者に合わせて情報を発信できていると思う。 ・活動前後や電話・ライン等様々な媒体を通じて情報の共有が行えていると考える。 ・個人情報には鍵付き書庫にて保管し、インターネット上のデータの取り扱いにおいても漏洩しないように厳重に管理をしている。 ・児童のファイルは書庫の中、名前や受給者情報などの様々な個人情報はシュレッダーで破棄できている。SNSなどの配信も事前に確認をして十分に注意できている。 ・個人情報はしっかりと事務室で管理されており、情報漏洩等無いように配慮されていると考える。 ・line等で個人の活動の動画・写真を送る際には個人のみまたは修正をかけた状態で送られている。
	10 個人情報に十分注意しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いについては、職員間で共有してミーティングなどでどのように対応するか話し合い対応できている。 ・苦情が出た際にはすぐに職員間での共有を行い、ミーティング等を通して解決策検討して対応することができている。 ・利用者の家庭事情に配慮し、日々の情報や出来事の有りに関しては、伝達媒体を慎重に選定しながら行っている。 ・お迎えや面談・LINE@・電話を通して保護者に合わせて情報を発信できていると思う。 ・活動前後や電話・ライン等様々な媒体を通じて情報の共有が行えていると考える。 ・個人情報には鍵付き書庫にて保管し、インターネット上のデータの取り扱いにおいても漏洩しないように厳重に管理をしている。 ・児童のファイルは書庫の中、名前や受給者情報などの様々な個人情報はシュレッダーで破棄できている。SNSなどの配信も事前に確認をして十分に注意できている。 ・個人情報はしっかりと事務室で管理されており、情報漏洩等無いように配慮されていると考える。 ・line等で個人の活動の動画・写真を送る際には個人のみまたは修正をかけた状態で送られている。
満足度	11 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4			<ul style="list-style-type: none"> ・毎年の訓練時期を予め定めており、職員と利用者の両方の訓練を定期的に行っている。 ・職員のみでの避難経路確認・消火訓練、児童を含めた避難訓練を年2回行っている。 ・定期的な避難訓練を行い、災害発生に備えることができていると考える。 ・国で定められた研修・訓練以上に取り組む事が出来ている。マニュアルの見直しも年間同様、利用者を含めた訓練は訓練初年として実施している。
	12 子どもの社会性*2とコミュニケーション力*3は向上したか	4			<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動を中心とする中で、社会性とコミュニケーション能力の向上を図るべく、プログラムの提供と併せながら、利用者の日々の教室内での行動や発言といった面でも、指導員が介入をしながら都度支援を行っている。 ・児童の個別支援計画に沿って、必要な課題を提示できている。社会性・コミュニケーション力も向上している児童はいる。 ・活動を通して子供たちのコミュニケーション能力の向上が見られる。特に今年度は西川口教室の合流もあり、再度自己紹介や他児の名前を覚えることを子供たちが意識して
	13 子どもの運動能力・協応動作*4は向上したか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・運動授業の内容について、目的と成果を明確にし、指導内容を細分化して成功体験を積みながら運動能力と協応動作の向上が図れるように工夫を行っている。個人それぞれが課題としている運動機能の向上は、成長速度に個人差はあるがほぼ全ての子どもたちに見られている。 ・毎月の運動・SAQを通して運動能力や協応動作の向上は図れている。課題が難しい児童に対しても課題設定を下げるなど配慮を行い成功体験を積めるようにしている。 ・児童により個人差はあるものの全体を通してできる運動が増えたように感じた。一方で個人差が大きい児童もいる。
	14 子どもの視覚認知機能*5は向上・改善したか	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・視覚覚トレーニングを中心に、眼球運動の強化を図っている。プログラム内容については毎月更新がなされており、利用者に対して常に工夫された課題を提供しているため、視覚認知機能の向上が行われている。直写・視写の活動については、視覚的な成果が現れることで子どもたちのモチベーションアップにもつながっている。 ・年間の課題を通して視覚認知期のは向上・改善していると思うが児童の個人差が大きく全体が向上してはいると思わない。 ・主に視覚覚トレーニングを中心に視覚認知機能のや巧緻性の向上が見られた児童が多い印象を受けた。来年度は全体を通しての能力の向上を図れるよう指導していきたい。
	15 子どもは通所を楽しみにしているか			4	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が楽しく通所ができるように、運動や座学を通して成功体験を積み、次回の来所を促進できるようなプログラムの提供を行うことで、大半の児童達や保護者から「すきっぷが楽しい」といった声を聞くことができている。ただし、行き渋る子どももおり、その場合は個別対応をしながらより成功体験が積める支援体制を目指して改善に当たっている。 ・主に「楽しい」と通所できている児童が多いが、その中で行き渋りの児童もいる。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標・工夫している点など
16	事業所の支援に満足しているか	2	2		<ul style="list-style-type: none">・主にスムーズに通所できている児童は多いが、その中でも行き渋りのある児童がいる為、楽しみにしているとは思えない場面がある。通所時や活動を通して楽しさと同様な目標をもって通所できるように今後も支援していきたい。・概ねの児童は意欲的に来所することができている。一方でSAQトレーニングを理由とした行き渋りが何件があった為、児童がSAQトレーニングに対して苦手意識を持たないように・活動内容の成果を、保護者へ口頭や動画で直接的に伝える事で、児童の成長を実感頂いている。保護者としても児童としても、当事業所を必要として頂いている声を日々受けており、成果を出し続けることで今後も利用者の期待に応えていきたい。・保護者からの需要と事業所の供給はあると思うが合併してことによって支援が行き届いていない家庭はあると思う。事業所の支援内容はほぼ満足している。・概ねの支援には満足している。一方で自身が上青木西教室に慣れていない部分もあり、十分な支援を行えていないので今後努力していきたい。